

# がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です  
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	CDDP+5-FU+放射線療法
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	肛門がん
保険適応外の使用	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
入院外来区分	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 外来

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	An-003
登録日・更新日	2024年10月22日
削除日	
出典	J Clin Oncol. 2012;30:4344-4351. JAMA. 2008;299:1914-1921.
入力者	船木 麻美

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
No.1	シスプラチン (シスプラチン注)	10mg, 50mg	75mg/m <sup>2</sup>	□IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV □CV □側管 □その他( )	1時間	day1
	生理食塩液	500mL	※溶液が合計500mL			
No.2	フルオロウラシル (フルオロウラシル注)	250mg, 1000mg	1000mg/m <sup>2</sup>	□IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV □CV □側管 □その他( )	24時間	day1-4
	生理食塩液	500mL				

1コースの期間	28日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能( 日) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	【中止・延期基準】 WBC < 2,000/ $\mu$ L、ANC < 1,000/ $\mu$ L、Hb < 8.0g/dL、Plt < 5万/ $\mu$ L、 T-Bil > 2.0mg/dL、AST > 100IU/L、ALT > 100IU/L、BUN > 40mg/dL、SCr > 1.5mg/dL 【減量基準】 ANC<500/ $\mu$ L、発熱性好中球減少症の場合、シスプラチンとフルオロウラシルを50%減量
催吐性リスク	高度
前投薬	なし
支持療法(その他)	・ハイドレーションは「シスプラチンとカルボプラチンのHydrationについて」を参照する
その他の注意事項	・放射線と併用する